

## 平成 24 年度自然ふれあい行事開催報告

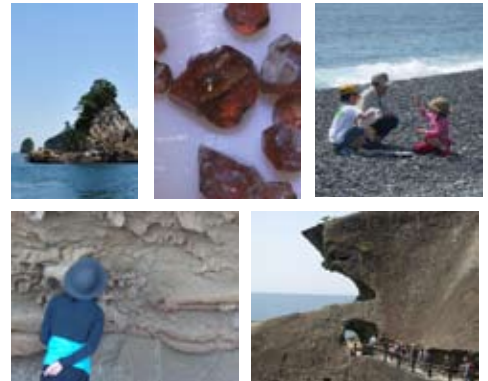
## 第 5 回

「地質の日フィールドワーク 熊野のジオサイト 潮岬の海岸散歩」  
～マグマからできた岩石をたずねて～

## ◎地質の日とは◎

**毎**年 5 月 10 日は「地質の日」。鉱物・温泉・土壌・洞窟など、「地質」は私たちの生活に深くかかわっています。地質の日は、そんな地質を身近に感じてもらうために制定されました。地質の日には、日本各地で様々なイベントが実施されていきます。

吉野熊野国立公園では、たくさんの珍しい地質や地形が見られます。熊野自然保護官事務所でも、毎年地質にまつわるイベントを開催し、その魅力をみなさんに紹介しています。



## ◎活動のようす◎

今回のテーマは、本州最南端に位置する和歌山県串本町の潮岬です。潮岬の海岸では、太古の火山活動のなごりを観察することができます。



潮岬周辺の岩石は、主にグラノフィア（石英斑岩）・ドレライト（粗粒玄武岩）・玄武岩の3種類に分けられ（上左写真）、全てマグマが冷えて固まってできた岩石です。これらに注目しながら周囲を観察すると、グラノフィアを玄武岩の岩脈が貫いていたり（下左写真）、玄武岩をドレライトの岩脈が貫いていたりするこん跡（下中写真）を見つけることができました。



これらの岩脈は、かつて複数回にわたる火山活動があったことを示す証拠になります。

また、周囲では顕著な「枕状溶岩」が見られます（右写真）。これは、かつての火山活動の際、マグマが海水中で急激に冷やされたときにできる特徴的な溶岩のかたちです。



少し険しい道のりでしたが、潮岬周辺の地形を観察し、ダイナミックな過去の火山活動の様子を垣間見ることができました。

みなさんもぜひ、身の回りの「地質」に着目してみてください！ 小さな石にも驚くような秘密が隠されているかも!?

### ◎参加者の声◎

- 実際に見て歩くことで、生きた学習をしたなという実感がありました。
- 自然との出会いによって癒されました！ 今後も地質の日イベントを企画してください。
- 新しい分野に興味がわきました。
- 険しい道でしたが、みんな積極的に歩いて、貴重な体験でした!!
- 石探しが面白かった！
- とても面白かったです。また来年も参加したいです。



主催 (後援)	近畿地方環境事務所 (地質の日事業推進委員会・日本地質学会・和歌山県・串本町)
参加者	19名